

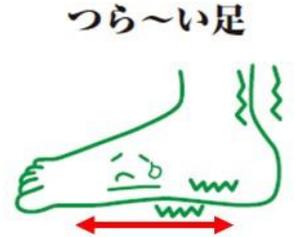
# 日本の「足の健康文化」の再構築

アシマル、アシサプリの営業をスタートする前に、下記文章をお読みください。

日本人は「足の健康」を置き去りにしてきました。

日本は先進国の中で、最も足の健康意識が希薄で、シューズ選びもできず、足の疲れを放置しています。欧米と比べるとその差は大きく、日本人は未だ近代文明に対応できていません。

スポーツ選手は、自分の足の症状を理解せず、怪我をして引退していきます。  
安全靴で、足腰膝が疲労し労働災害になっている。  
パンプスでの立ち仕事で、取り返しのつかない外反母趾になってしまった。  
ビジネスシューズでの営業で、慢性的なカカト痛に陥ってしまった。  
子供の足が・・・運動不足で、極端な扁平足になってしまった。



「足の健康」は、人間が生きていく上で「基本中の基本」です。

生きていくために必要な「足の健康」を放棄することで、世界との差が広がっています。発展を遂げ、すべてのものが手に入る日本において、ないもの・・・それが「足の健康」です。

## 日本で「足の健康文化」が発達しない背景

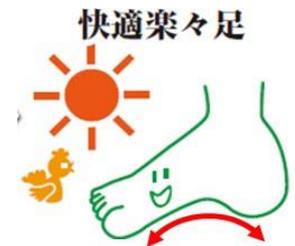
欧米諸国では、機能的インソールを日常的に使用し、労働者やスポーツ選手の足のケアを行っています。中国、台湾では足つばマッサージが普及し「足の健康文化」が発達しています。日本の整形外科は、「足の健康」を守ってくれません。

**先生！足が疲れて大変なんです。・・・シッフ薬で様子を見ましょう。**

足の疲れは放置され、悪くなった段階で手術。日本の整形は、「足の健康」を守る有効な予防策を持っていません。障害予備軍を放置し続けています。また、保険適用の医療用インソールは、1年に1回しか購入できません。（スポーツに不向きなインソールも多くあります）

日本では「足の健康」において、何の手立てもありません。八方塞がりです。

労働者は悲鳴を上げ、オリンピックで金メダルの数はなかなか増えていきません。



どうすれば日本人は救われるのでしょうか。

スポーツ市場、健康寿命において、このままで本当に良いのでしょうか？

## 方法は1つ、インソールの普及で、日本人の足の健康は守れます

シューズに入れるだけで、足の健康を守れますので、インソールがもっとも有効な方法です。しかし、残念なことに、インソールは普及していません。その理由は、日本人の習慣が起因していることもありますが、性能、値段、売り易さにおいて、営業マンやショップ様が売りたいと思えるインソールがなかったこと。消費者がリピートしたくなるインソールがなかったこと。などがあげられます。その点をメーカーはしっかり踏まえ、普及できるインソールの開発に努めていかなければなりません。

## アシマル、アシサプりで「足の健康文化」を再構築できます

アシマル、アシサプリアは、インソールが普及しなかった要因を解決してきました。

【足の疲れの根本原因を解消】【購入しやすい価格】【ハーフインソールで販売しやすい】など、普及できる体制を整えました。

アシマル、アシサプリアを販売していただくことで、「足の健康文化」を再構築していただきたいと考えています。

シューズを購入されるすべてのお客様に、インソールを進めてください。

「足の健康文化」を再構築することから生まれるビジネス効果は、シューズ販売など様々な商品の販売にプラスになっていくと思います。

それでは、ホームページの資料を利用しながら、基礎知識、販売方法、コロナ対策、研究資料について勉強し、営業にお役立ててください。